

春風ぞ吹く 代書屋五郎太参る 宇江佐真理



村椿五郎太(小普請組)、静太郎(亡父)一里江(母)
 熊吉(奉公人)一おまさ(女房)
 水茶屋 ほおずき 伝助一おしゆん(女房)
 鶴吉(息子)、亀吉(息子)、お民(娘)、おしず(母)、彦六(奉公人)
 おきた(茶酌女)、お須賀(茶酌女)、お三和(茶酌女)
 俵平太夫一藤乃(妻)、内記(息子 勘定所御番入り)一澄江(妻)、紀乃(娘)
 おかや(女中)、房江(平太夫の妹)一大竹順庵(町医者)
 宗像小十郎(勘定所 紀乃の縁談相手)
 滝上(長局 お年寄)、さき(姉)、英禪之進(さきの息子)

大沢紫舟(聖堂の御儒者)一おふよ(妻)＝紫舟(花魁)
 二階堂秀遠(天文地理の学者)、筆吉(弟)、二階堂忠興(義父)
 荒川伊織(五郎太の学友)、山川教之進(五郎太の学友)
 斎藤民之介(五郎太の学友)
 弥生(五郎太の学友 えびす屋女将)一清兵衛(夫)、お涼(母)
 橋和多利(手習い所師匠 岡山藩儒官)、お糸(女中)
 廻船問屋 六兵衛(息子)
 薬種屋 米次郎(息子)、辰吉(小僧)
 太田直次郎＝大田南畝(蜀山人)